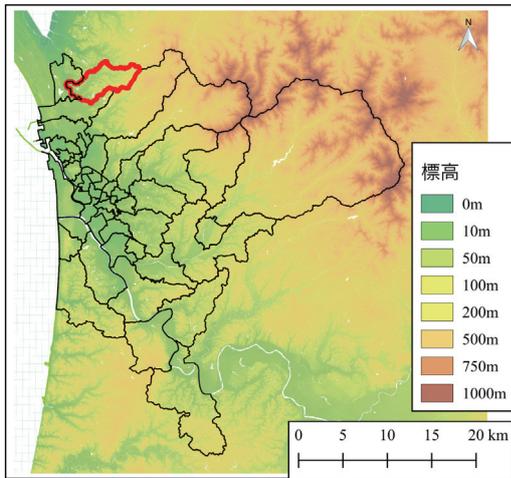


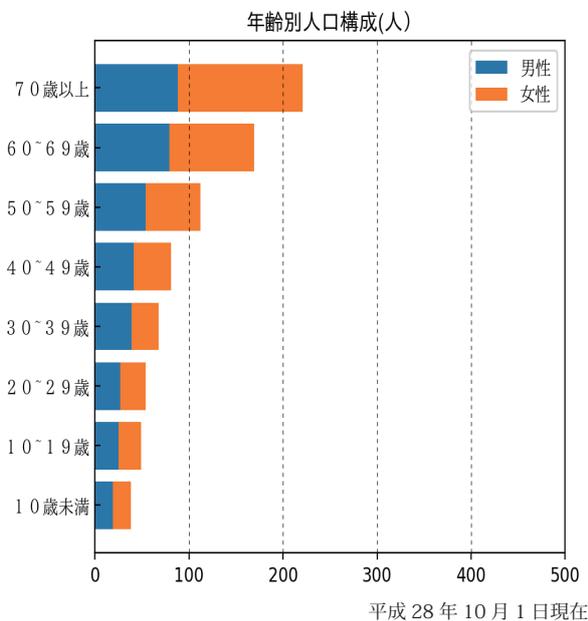
02：下新城小学校（旧金足東小学校）区

位置図



1 居住者の現況

人口	784 人
世帯数	302 世帯
65 歳以上人口	308 人
10 歳未満人口	37 人



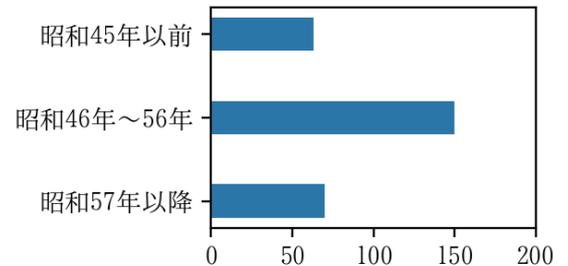
2 建物に関する指標

■ 構造別建物棟数(棟)

	棟
木造建物	283
非木造建物	6

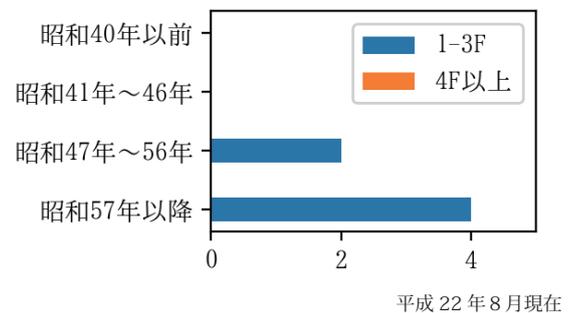
■ 建築年代別木造建物棟数(棟)

	棟
昭和57年以降	70
昭和46年～56年	150
昭和45年以前	63



■ 建築年代別非木造建物棟数(棟)

	1-3F	4F以上
昭和57年以降	4	0
昭和47年～56年	2	0
昭和41年～46年	0	0
昭和40年以前	0	0



自然的・社会的基本指標

秋田市の北端に位置しており、潟上市と境界を接している。地形は山地が広がっており、西部と馬踏川沿いの谷底平野では沖積層の地盤となっている。小規模のダム・ため池等が多い。山地と平地の境界付近に急傾斜等危険地域が多い。人口は800人程度で、高齢者層ほど構成比率が高く、65歳以上の高齢者は全体の約40%を占める。建築物の多くは木造建築物であり、昭和56年以前の建築物が約87%を占める。なお、金足東小学校は平成22年4月に下新城小学校に統合されている。

3 自然災害に関する指標 (平成 29 年 3 月現在)

■ 洪水

指定河川	(該当なし)		
浸水面積 (%)			
最大浸水深 (m)			

■ 土砂災害

* 土砂災害危険箇所

種別	箇所数	主な指定箇所
急傾斜地崩壊危険箇所	8	山崎、稲荷林、黒川、深田、内畑 他
土石流危険渓流	14	小草生津沢、コフラゲ沢、深田沢、山崎沢 他
地すべり危険箇所	0	(該当箇所なし)
なだれ危険箇所	3	金足黒川、金足片田字山崎、内畑

* 土砂災害警戒区域

種別	箇所数	主な指定箇所
土砂災害警戒区域	10	コフラゲ沢、深田沢、山崎沢、金足片田沢 1、2、3、金足吉田沢 他
うち土砂災害特別警戒区域をふくむもの		

■ 地震および津波

* 地震 (どこにでも起こりうる直下の地震: M6.9)

平均震度	震度 6 弱	
(計測震度)	(5.73)	
震度 6 強以上となる面積 (%)	7	
液状化危険度ランク	1	
建物全壊率 (%)	5.7	

* 津波 (秋田県沖の地震で A,B,C 領域が連動した場合)

浸水面積 (%)	(該当なし)
最大浸水深 (m)	(該当なし)

4 災害時要配慮者に関する指標 (平成 29 年 3 月現在)

■ 要支援者関連施設 (収容施設のみ)

種別	施設数
高齢者支援	0
婦人幼児支援	0
障がい者等支援	0

■ 幼稚園・保育所等

種別	施設数
保育所等	0
こども園	0
幼稚園	0

■ 学童支援施設

種別	施設数
児童館等	0

■ 学校等

種別	施設数
小学校	0
中学校	0
高等学校	0
大学・短大・高専	0
養護学校等	0

5 防火・防災施設に関する指標 (平成 29 年 3 月現在)

■ 消防関連施設

消火栓数 (箇所)	9
防火水槽 (箇所)	7
消防車台数 (台)	12
消防ポンプ数 (台)	5
消防団員数 (人)	151

■ 避難所/避難場所 (別表参照)

災害種別	施設数
洪水	2
土砂災害	0
地震	2
津波	0
福祉避難所	0
津波避難ビル	0
津波警報サイレン	0

■ 救急・防災関連施設

種別	名称/箇所数
管轄消防署	土崎消防署
管轄警察署	秋田臨港警察署
病院・医院数 (歯科を除く)	0
最寄りの救急告示病院	秋田厚生医療センター
自主防災組織数	20

自然災害時の危険要素

旧金足東小学校区内での河川氾濫による浸水域は想定されていないが、山間地の小河川では大雨による氾濫が懸念される。

土砂災害については、土砂災害警戒区域等が学校区内では 10 箇所 (うち、急傾斜 3 箇所、土石流 7 箇所) が指定を受けている。

地震時の揺れは、西端の平野部を除きほぼ同様の揺れやすさとなっている。液状化の危険度は比較的小さい。津波による浸水のおそれは極めて低い。

防災上の課題と対策

旧金足東学校区は馬踏川の中・上流域にあり、川沿いの低地部に集落が散在している。学校区の西端を緊急輸送道路である秋田自動車道と県道秋田昭和線がほぼ南北に通る。市内でも人口が最も少ない学校区のひとつであり、しかも 65 歳以上の高齢者が全体の約 40% を占め、若年層ほど構成比率が低下している。複数の集落は、土砂災害並びになだれ危険箇所に隣接もしくは包含されている。学校区面積が広いため、災害の様相が学校区内でも異なる可能性が高いとみられることから、災害時の情報連絡体制の確立と集落ごとの一時避難並びに救護救援・搬送体制を予め検討しておくことが必要である。馬踏川沿いの集落では河川の氾濫による被害の発生が懸念されるが、住民自身が的確な災害時対応を行うことができるよう、防災関連情報等の周知を図るとともに、地域内での協同および地域外との連携体

<p>制について検討することが有効である。なお、馬踏川上流域には黒川油田があり、現在でも複数の生産井が稼働操作していることから、万全な災害時対策が図られるよう地域としても注目していく必要がある。</p>	
---	--

■ 避難所・避難場所

施設	指定避難所	緊急避難場所					収容人員
		災害の種類（○のみ利用可）					
		洪水	がけ崩れ / 土石流	地震	津波	大規模火災	
旧金足東小学校グラウンド	x	○	x	○	x	x	3,175 人
旧金足東小学校（体育館）	○	○	x	○	x	x	239 人

福祉避難所

施設	所在地	電話番号
(該当なし)		

津波避難ビル

施設	所在地	利用可能範囲	収容人員
(該当なし)			

津波警報サイレン

施設	所在地
(該当なし)	

